

災害時の支援者の「心得」
～南三陸町支援から熊本地震、そして今～

高知県中央東福祉保健所 田上豊資

■南三陸町支援で作成した「心得」

- ・高知県による南三陸町支援
- ・緊急所長会で共有した「心得と役割」

■ウルトラマンとの出会い

- ・南三陸町医療統括本部との保健衛生部門の関係
- ・秋田での公衆衛生学会シンポジウムとウルトラマン

■熊本地震でも・・・

- ・木脇先生のレポート
「DMAT が最大ノ災難ダッタ」
- ・熊本地震の支援で活用していただいた「心得」

■福島県の保健師さんの声（遠藤先生）

- ・遠藤先生による心得作成のためのプレ調査

■厚生労働科学研究（古屋班）アンケート調査

- ・岩手・宮城・福島県で受援業務を担った保健師さんにアンケート調査（1月）

■最後に

災害時の支援者の「心得」

～南三陸町支援から熊本地震、そして今～

平成28年度 全国保健所長会研修会 (H29年1月31日)

災害時健康危機管理支援(DHEAT)体制 受援と支援 保健所長が取り組むべきこと

高知県中央東福祉保健所

田上豊資

お話しすること

1. 南三陸町支援で作成した「心得」
2. ウルトラマンとの出会い
3. 熊本地震でも・・・
4. 福島県の保健師さんの声（遠藤先生）
5. 厚労科研究（古屋班）アンケート調査（1月）

発災直後の県と高知市の緊急保健所長会

- **3月17日（木）**：**高知県保健師等（第1班）**の派遣
- **3月18日（金）**：**高知市保健師等（第1班）**の派遣
- **3月18日夕方 高知県臨時保健所長会**
 - ⇒保健師からの報告を受け医師派遣を決定することを確認
 - ⇒同夜 県保健師からSOSの電話
- **3月19日（土） 高知県・高知市臨時合同保健所長会**
 - ⇒県・市が協力して保健師等の「等」での医師派遣を決定
 - ⇒同夕方 本庁の組織決定（3/20からの派遣を決定）
- **3月21日（月） 高知県・高知市臨時合同保健所長会**
 - ⇒厚労省の公衆衛生医師派遣要請を受け、4月末までの継続派遣を決定

派遣公衆衛生医師の役割

(4/3 西條所長との確認事項)

- 感染症対策などの保健チーム内での**技術的助言**
- **医療チームと保健チームの連携**
- 各県市からの保健師等の**支援チーム間の調整**
- 広い視野で全体を俯瞰して現状把握をし、必要な**助言**をする
- 状況を見て、必要に応じて**一兵卒**としての役割もいとわず積極的に請け負う

南三陸町支援にあたっての「心得と役割」を共有

(H23.4.14 緊急保健所長会で確認・共有)

心得

○支援的な立場を貫徹する

- ・継続性を持って責任ある対応ができるのは現地担当者のみ。その自立を側面的に支援するスタンスは絶対守ること。
- ・ただし、引き過ぎず、入り込み過ぎない臨機応変な立ち位置での支援が必要。引き過ぎれば支援にならないし、入り込み過ぎると現地担当者の主体性や継続性を阻害することになる。担当者の力量に応じた柔軟な立ち位置をとることも肝要。

○継続性を確保する

- ・多くの場合、支援者は短期間にローテートするため、現地担当者、支援者ともに関係づくりに苦勞する。現地担当者に余計な苦勞をさせないためにも、支援チーム間の横の情報共有やチーム間でぶれない引き継ぎ作業を行うことも重要。

○支持的に傾聴する

- ・現地担当者は、多忙を極めながらも具体が進まない、頭の整理がつかないことに苦悩している。また、自らが被災者であることも多く、心身ともに疲労している。そうした苦勞や苦悩を受け止め、支持的に傾聴すること。
- ・その際、現地担当者は超多忙なので、できるだけ短時間でその作業を行うこと

○現地担当者の頭の整理を助ける。自己決定を側面的に支援する

- ・現地担当者には、膨大な情報が集中し、それに対する迅速な対処が求められる。しかし、膨大な情報の整理や対処方法の検討を落ち着いて行うことは極めて困難であり、混乱の中で対応している。
- ・そうした中で行ってきた現地担当者の判断や対応を支持的に受け止めながら、混乱している頭の整理を手助けする。多くの場合、現地担当者は、何をなすべきかを理解しているので、傾聴しながら、その自己決定を側面的に支援する。

○現地担当者の荷物を軽くする

- ・被災当初から火の車状態で対応してきた現地担当者は、多忙を極めて混乱しているため、支援者が入っても、支援者をうまく活用できないことが多い。むしろ、沢山入ってくる支援者の調整作業にエネルギーをとられたり、支援者の言葉に落胆を覚えることもある。
- ・大切なことは、現地担当者でないとできないことと支援者でもできることに業務を振り分けて、現地担当者の荷物を軽くし、司令塔的な役割を発揮できるようにすること。
- ・具体的には、現地担当者が行っている業務の中で、対応方針を決定するなどの立場的なことや土地勘、顔の見える関係性を活かした対応などは現地担当者でないとできないが、一方で、少し工夫すれば支援者に任せられることが多々ある。そうした見極めをして、現地担当者が自分でやらなければと思いこんでいることの一部が、外部支援者にオーダーできることに気付けるよう具体的に提案しオーダーの自己決定を支援する

南三陸町支援にあたっての「心得と役割」を共有

(H23.4.14 緊急保健所長会で確認・共有)

役割

○基本的なスタンス

- ・市町村、保健所ともに自らが被災していることもあり、司令塔としての役割が十分発揮できていないことが多い。
- ・現地保健所による災害公衆衛生活動の中に入って、**現地司令塔の役割を補佐**する立場で支援活動をするを基本とする。(現地保健所の役割は、感染症対策など保健所業務としての現地活動、市町村の災害保健活動を支援する保健所の活動に大別される。)
- ・災害現場であるので、現地保健所長による細かな指示命令を確認する暇はないが、**基本的な方針は必ず現地所長と確認**の上、行動すること。(直接もしくは、現地に入っている保健所職員を介して)

○感染症対策など保健チーム内での**技術的な助言**

- ・現地の市町村チームや保健所チームの保健師等から求めに対して、専門的・技術的な助言をする(求めがない場合は、その気づきができるような助言をする)
- ・個々の力量の問題もないことはないが、公衆衛生医師がそばにいることの安心感も重要。

○**医療チームと保健チームの間の調整**

- ・平時にも言えることであるが、医療チームとの調整は、保健師には限界がある。医師同士でコミュニケーションをとることで対等な協力関係を構築できる部分もあるので、医療チームと保健チームの間の調整役を担う

○各県市からの**保健師等の支援チーム間の調整**

- ・多くの県市から支援チームが入っており、しかも、1週間前後で頻回な入れ替わりがされる。そのため、支援チーム間の横の情報共有と同一支援チーム内の継続性の確保が大きな課題となる
- ・そうした場合に、保健師チームだけだと、お互いが並列な関係であるので、リーダーシップをどこもとれなくなることが多い。そのため、職種の違う公衆衛生医師が、その調整役を担うことが効果的かもしれない(医師でなければできないことではない)

○**広い視野で冷静に全体を俯瞰**して現状把握をし、必要な**助言**をする

- 状況を見て、協議事項の文書化やデータ入力など、必要に応じて**一兵卒**としての役割もいとわず積極的に請け負って手伝えること

南三陸町への人材派遣

- **公衆衛生医師 (3/20~5/25)**

- 延べ14名

- 高知県8名、高知市保健所2名、**香川県4名**

- **保健師等 (3/17~9/31)**

- 高知県・市

- 県・市町村合同チーム 52チーム

- 高知市保健所チーム 11チーム

- 高知市保健所単独は、5/13で終了

- 合計63チーム **保健師126名**を派遣

- その他

- 香川県、松山市、熊本県・市、兵庫県、宮城県

熊本地震でも・・・

(木脇先生のレポートより引用)

- 阪神淡路を経験された神戸の保健職の講演で「**支援者が来るのが嫌**だった」と聞いたことがある
- 「**悔しい**。それにしても悔しい」との仲間の声
- 「すべては被災者のために」、同じ目的で活動しているのに**エネルギーの無駄遣い**。もったいないです。



- 「**DMATが最大の災難だった**」と言われたいようにしないとね！

発災直後に危機管理体制（受援体制を含む）
を整備しておかないと（遅れをとると）・・・

大勢のウルトラマンがやって来る！
ウルトラマンの力は借りたいが・・・

8人のウルトラマンが活躍している図

受援ストレスに耐えられますか？
受援力をつける＝マネジメント力をつける
（DHEATは？）

寄り添い支援（支援者の心得）

ご支援
ありがとうございます。
ございます。

お疲れ様
です！
お手伝いに来
ました。

自分のことで精一杯！
支援は有り難いが、
何をお願いしたら良いか
分からなくて…

受援者の困り事に
寄り添いながら察知して
受援者が自ら気付けるよう
出すぎず、さりげなく！

言われる通りだけど、
言われると辛い。わかって
いても、できない事情がある
んだけどね～。

アンパンマン
と
ジャムおじさん

所詮、現地の事情が
分からないよそ者だから
「郷に入れば郷に従え」
を肝に銘じよう！

アドレナリンを出しまくって頻繁に交代する
支援者の対応に疲れ果てた。でも、「有難
迷惑」なんて言えなくてね～。

多くの支援者への対応お疲れ様です。
支援者の受付等、何でもお手伝いしますから
少しでもお休みください。
支援者には、言い難いこともありますよね。
私が代弁しましょうか？

遠藤先生が、平成28年5月30日福島県内の6県型保健所の保健師等にメール調査
(99名の保健師等を対象に、所属及び個人が特定されないように配慮)

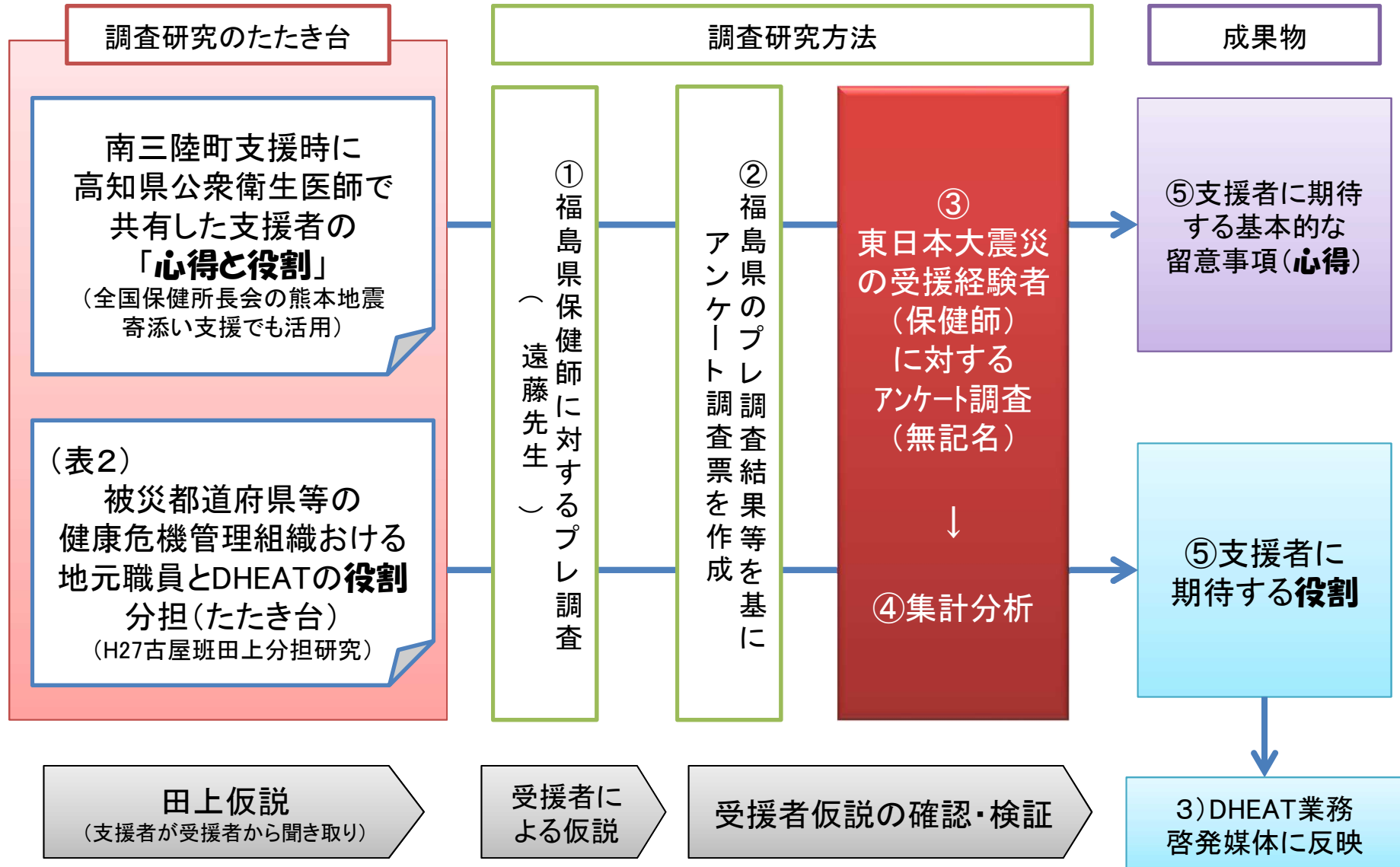


支援者の受入と調整に多大な時間と労力を取られた
支援者は短期間に交代するので、その都度の関係づくりや情報共有に苦労した
支援者間での引き継ぎと共有が不十分なため、対応に時間と労力をとられることがあった
多様な支援者の情報(誰が、何時から何時まで、何処に)が把握できなくて困った
避難所等に飛び込みで入る支援者があり、その対応に苦労した
支援者に何をすれば良いかと聞かれても、何をどこまで頼んでいいのか分からず困った
被災者や支援者の情報の集約が不十分な中、支援者を受援調整することに苦労した
支援してほしいことを言ったのに、断られることがあった
食事・宿泊施設・交通手段等の情報は、自前で調達して欲しいと思うことがあった
支援者は提案・激励しているつもりだろうが、強要・批判されているようで辛いことがあった
支援者に言いたいことがあったが、受援者の負い目から本音を言えなかった
支援者対応により土日も休むことができず疲労困憊した



岩手・宮城・福島県の保健師にアンケート調査(1月)

受援者が支援者に期待する支援時の基本的留意事項(心得)と役割



岩手・宮城・福島県の受援業務を担った保健師さんに調査

被災時の支援者の受援に関するアンケート

保健所

回答時意見調整

市町村

あり なし

「はい、いいえ、わからない」の前に
ある数字に○をつけてください

1 支援者を受援した際に苦労したこと、困ったこと

設 問	支援者の区別	
	保健師等支援チーム	その他支援チーム
1 支援者の受入と調整に多大な時間と労力を取られた	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
2 支援者は短期間に交代するので、その都度の関係づくりや情報共有に苦労した	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
3 支援者間での引き継ぎと共有が不十分なため、対応に時間と労力をとられることがあった	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
4 多様な支援者の情報（誰が、何時から何時まで、何処に）が把握できなくて困った	-	1.はい 2.いいえ
5 避難所等に飛び込みで入る支援者があり、その対応に苦労した	-	1.はい 2.いいえ
6 支援者に何をすれば良いかと聞かれても、何をどこまで頼んでいいのか分からず困った	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
7 被災者や支援者の情報の集約が不十分な中、支援者を受援調整することに苦労した	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
8 支援してほしいことを言ったのに、断られることがあった	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
9 食事・宿泊施設・交通手段等の情報は、自前で調達して欲しいと思うことがあった	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
10 支援者は提案・激励しているつもりだろうが、強要・批判されているようで辛いことがあった	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
11 支援者に言いたいことがあったが、受援者の負い目から本音を言えなかった	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ
12 支援者対応により土日も休むことができず疲労困憊した	1.はい 2.いいえ	1.はい 2.いいえ

（自由記載欄：具体的に苦労したや困ったことについて、上記もしくは上記以外のことについて自由に記載してください）

福島県の保健師に対するプレ調査(遠藤先生)を基に設問項目を設定